



（令和元年6月24日撮影）

細谷優子 伏尾朋子 永田ひとみ
坂和章平弁護士 坂和宏展弁護士



『法廷モノ』名作映画から
学ぶ生きた法律と裁判
（2019年3月出版）
（定価2,000円＋消費税）

『がんばったで！45年
ナニワのオッチャン弁護士
評論・コラム集』
（2019年4月出版）
（定価2,000円＋消費税）



『シネマ 43』
（2019年7月出版）
（定価1,500円＋消費税）
是非ご購入を！

暑中お見舞い申し上げます。

1) 10連休となった今年のGWは平成から令和への転換祝賀行事が相次ぐ中、異例の賑わいとなった。また、5/25～28にトランプ大統領を国賓として迎えた安倍晋三総理はゴルフ・大相撲・炉端焼きのおもてなし後に、天皇皇后陛下との会見や日米首脳会談をつつがなく終えた。そんな中、夏の参院選に合わせて衆院解散・総選挙は必至！6/7に通算で2721日間という、初代首相の伊藤博文を超えて歴代単独3位の長期政権となった安倍総理の度重なる否定発言や6/19の片岡討論における「解散という言葉は頭の片隅にはない。片隅にもない、と言った方が良くかもしれない」との答弁にもかかわらず、マスコミはそう確信し、多くの国民もそう予想していた。解散時期については「首相がウソをついても、だまされたほうが悪い」のが永田町の常識だが、参院選の日程が7/4公示、7/21投開票と設定される中、急速に同日選見送りへと収束していった。これは、連立政権を組む公明党への配慮や、国会の会期末が6/26に迫る中、降ってわいたように起きた「老後の生活費が200万円不足する」とした金融庁の審議会報告書の受取り拒否問題を起した麻生財務相への「配慮」もありそうだが、同時に政権与党が衆院で確保している憲法改正に必要な3分の2以上の議席を「温存」する狙いもある。

2) 6/28～29に日本ではじめて開かれる「G20サミット（主要20か国・地域首脳会議）」には、異例の厳戒態勢の中、主要な先進国と新興国の首脳が大団に集結する。議論すべきテーマは多いが、そこでは世界各国が固唾を呑んで見守っている「米中貿易摩擦（戦争）」の行方が最大の焦点だ。「華為（ファーウェイ）技術」への圧力や制裁関税「第4弾」はどうなるの？とりわけ、米中首脳会談の行方に注目だが、もし交渉が決裂したら・・・？

3) ヨーロッパでは独・仏・伊・スペイン等の各国で、難民・移民対策を巡るポピュリズム政党の躍進で揺れているが、EU（欧州連合）離脱のあり方を巡ってゴタゴタが続いた英国では、遂にメイ首相が閣内閣の辞任を表明したため、後継者争いの真っ最中だ。しかし米国では、何かと世界中を騒がせているトランプ大統領が、候補者の乱立で混乱する民主党を尻目に、6/18に再選を目指して来年の大

統領選挙への立候補を表明し、到るところで“トランプ節”を炸裂させている。

6/13にホルムズ海峡で2隻のタンカーが攻撃された事件は、「イランに責任がある」というのがトランプ大統領の言い分だが、イラン側はこれを真っ向から否定。そんな緊張の中、今度は6/20にイランが米無人探査機を撃墜させたから大変！これは国際空域での撃墜かそれとも領空侵犯による撃墜かが論点だが、米国はいったんイラン攻撃を決意し、10分前にそれを撤回したと発表した。

今やペルシヤ湾岸は、いつ、何が起きてもおかしくない情勢だ。タンカー問題は日本の安全平和法制にいう「重要影響事態」はもとより、武力行使ができる「新三要件」を充足しないため「存立危機事態」にも該当しないと判断されたが、万一、中東でコトが起これば日本は如何に？ひょっとして、「空母いぶき」の映画のようなスリリングな事態も・・・？

4) 4/7の統一地方選挙に合わせて、大阪府知事・市長のW選挙を仕掛けた大阪維新の会が両方で圧勝。その要因の1つが、賛否両論に分かれる「大阪都構想」を前面に押し出すのを抑え、これまでの“実績”を強調したことだ。6/9の堺市長選挙でも同じ戦法が功を奏したから維新は万々歳。さらに、衆参同日選挙の機運が広がる中、「あんなの対応如何ではエース級の対抗馬をぶつけるよ」の“恫喝”がよく効き、大阪の公明党は都構想を巡る2度目の住民投票賛成に転じたばかりか、固執していた総合区案を取り下げて都構想への賛成を表明したから、維新はウハウハだ。

後は7/21の参院選の結果待ち。国政では一強多弱状態が続く中、やっとのことで野党は32ある1人区で“候補者の一本化”に成功したが、その結束力には疑問がある。激戦必至の大阪では2人目の候補として新人で司会業の梅村みずほ氏を、北海道では新党大地代表の鈴木宗男氏を擁立するなど精力的だ。都構想の制度案（協定書案）は法定協定来年4～6月に取りまとめ、秋～冬に住民投票を実施するスケジュールも決まったから、2025年の大阪万博やIR構想の行方と共に“大阪維新”の活躍に注目したい。

5) 6/9の香港は、刑事事件の容疑者を中国本土に引き渡すことを可能にする「逃亡犯条例」の改正案に反対する100万人のデモ隊で埋

め尽くされた。そのため、それまではデモ隊を強制的に排除していた香港政府トップの林鄭月娥行政長官も、「改正を期限を定めず延期する」と表明せざるを得なくなり、中国政府もそれを支持したが、これは香港政府や習近平政権の誤算だったはず。

これに勢いを得た「反対派」市民は、続く16日にも①条例の「撤回」と②長官の「辞任」を要求するデモを敢行し、それには香港の全人口の3割近い200万人が参加したから、すごい。さて今後の展開は・・・？

6) 台湾では、習近平国家主席への権力集中が強まり、米中貿易摩擦（戦争？）の中で、軍事力とりわけ海軍力の増強を続けている中国を見据えながら、来年1月の次期総統選に向けた与党・民主進歩党（民進党）と国民党の戦いが続いていたが、6/13の党内予備選では現職の蔡英文総統が勝利した。

対中融和路線を目指す最大野党・国民党に対し、台湾の独自性を主張する民進党の現職・蔡英文氏は近時ずっと落ち目だったが、中国の台湾への圧力が強まる中、安定感がある現職に支持が集まったらしい。香港で高まる反中の機運も蔡英文の勝利に寄与したようだが、さて来年1月の総統選は？

7) 愛光関西9期会の囲碁会が定着したことによって、近時メキメキと腕を上げていく（？）私は、毎週日曜日のNHK杯の囲碁と将棋は必見！囲碁界では、近時、井山裕太四冠の失速と中国・韓国への劣勢が心配だが、10歳の仲邑菫（なかむら すみれ）プロの誕生等、明るい話題も多い。

将棋界では、藤井聡太七段の華々しい活躍と、最年少（16歳4か月）、最速（プロ2年2か月）での100勝到達も素晴らしいが、無冠になってしまった羽生善治九段が、故・大山康晴十五世名人の作った歴代最多記録（1433勝）を更新したのもすごい。69歳3か月を大幅に上回る48歳7か月の若さでの達成だから、既に前人未踏の幕内通算1000勝を超えて1026勝に達している横綱・白鵬と共に、今後どこまで更新していくのかを注目したい。

2019（令和元）年6月25日記

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

1 弁護士業務

1) 再開発関係

◆徳島の新町西地区の市街地再開発事業については、これまでお知らせしてきたように、2016（平成28）年3月の徳島市長の交代によって権利変換計画が不認可になるという事態を受け、組合からの依頼により権利変換計画の不認可処分取り消しを求める訴訟を提起。しかし、17（平成29）年9/20に徳島地裁で敗訴判決を受け、組合は控訴したが、別の弁護士に依頼したため、その結果を見守るだけの立場となった。高松高裁でも18（平成30）年4/20に組合敗訴（控訴棄却）の判決が下され、19（平成31）年2/8には組合の上告も棄却され、組合の完全敗訴が確定した。組合は別途、損害賠償を求める訴訟を提起し、なお徳島市と係争中だが、事業の中止は動かない事態となり、これに伴う問題の波及ははかり知れない。市長は一体どんな責任をとるのか。外部の目からになるが、今後も推移を見守りたい。

◆岐阜市・高島屋南地区の市街地再開発事業では事業が進み、2018年に認可を申請していた権利変換計画について、19年2/1付で認可が下りた。ところが、地権者の一人だけが事業に反対のまま権利変換期日を迎えたため、組合はやむを得ず明渡し断行の仮処分命令を申し立てることに。明渡しが遅ればその分だけ事業が遅れ、事業費もかさんでしまうし補助金のスケジュールも気にしなければならない。迅速な解決が求められる事件となったが、あらかじめ周到な準備をしておいたおかげで、権利変換期日の到来後、迅速に申立てを行い、スムーズに手続を進めることができた。相手方も代理人を選任して激しく反論してきたが、ほとんどの主張は想定済みであったため、法的に組合の優位は全く揺るがず、最終的には6月に和解を成立させて、無事に解決を図ることができた。それ以外の問題は全てクリアされているので、事業の完成まで顧問弁護士として引き続きケアしていきたい。10/10に挙行される起工式にも出席する予定だ。

◆和歌山市の友田町四丁目市街地再開発事業は2019年1月に着工に至った。実務的な細かい調整はいろいろとあったが、おおむね順調に工事も進んでいる。このまま無事に完成となるよう引き続き見守っていきたい。

2) 一般業務

交通事故関係については変わらず宏展弁護士を中心として着実に処理しているが、一般民事・企業法務案件については大きな動きが少ない上半期となった。そんな中、章平弁護士の友人関係から、中国人の事業家を依頼者とする不動産に関する大型事件を受任。相手方にも弁護士がついたので、話し合いになるか裁判になるかの分岐点に立っている。資力はあるが日本語がしゃべれず、日本の不動産情報にも疎い中国人投資家がたくさん進出している昨今、この手の紛争が増えそうだ。翻訳をお願いした友人の中国人弁護士・史林麗さんや不動産会社の社長である古婷婷の2人とも歩調を合わせながら解決に向けて努力していきたい。

3) その他

2014（平成26）年11月に始まった苦小牧の離婚事件は、2019（平成31）年1/4に和解成立となり、4年余りの紛争期間を経て全面的に解決した。当初から希望し続けた復縁や親権の取得はならなかったものの、別れて暮らす子どもとの面会交流については相当詳しく取り決め、しっかりコミュニケーションを取る態勢を整えることができた。もちろん相手方のあることなので譲歩せざるを得なかった部分も多かったが、それはやむを得ない。今後は、長期にわたる面会交流についてしっかりフォローし

ていきたい。なお、会社の監査役としての仕事は継続するから、夏場の苦小牧への出張は今後も続く予定。そうなれば当然仕事に合せたゴルフも数回・・・。

2 出版関係—新日本法規の加除式本と法律書

1) 『わかりやすい都市計画法の手引』は、都市再生特別措置法等の平成30年改正における都市計画法の改正で新設された「第5章 都市施設等整備協定（75条の2～75条の4）」と「第6章 都市計画協力団体（75条の5～75条の10）」の解説を執筆。追録39・40号が1月に、41号が2月に発行された。

2) 『問答式 土地区画整理の法律実務』は、7月の編集会議を経て、追録47・48号として、都市再生特別措置法の平成30年改正で創設された集約換地の特例制度である「誘導施設整備区」を活用した「空間再編賑わい創出事業」等に関する新設問や補正原稿の執筆を予定している。今秋の発行予定だ。

3) 『Q & A 災害をめぐる法律と税務』は、追録52・53号の新設問や補正原稿を執筆中で、今秋に発行予定。昨年9月の関西国際空港の連絡橋にタンカーがぶつかり崩壊した台風21号や9月の北海道胆振東部地震など、近年は大規模な災害が多発しており、執筆するネタが多いため、同書の執筆は引き続き強化していきたい。

4) 数年前より執筆が滞っている民事法研究会の『都市計画法の読み解き方』（仮称）は、今年3月の出版を目指していたが、都市計画法の改正が続くうえ、担当事務員の過剰負担や続々と続くシネマ本の企画を優先させてきたため、執筆が一向に進まず難航している。作業を滞留させると頭がボケてしまううえ、次の改正をどう入れ込むかという新たな悩みが加わる悪循環に陥っている。95%は完成しているのだから、どこかで「エイヤー！」と割り切って完成させようえ、早く印刷に回したい。

3 出版関係—シネマ本、コラム集、さらに・・・

1) 年2回のシネマ本の出版以外に、以前からの念願だった『シネマから学ぶ法律』の本の出版が実現した。ハリウッドと日本の法廷モノの名作だけで15本+32本だから、それだけでもすごい。本書は更に韓国（9本）、中国（6本）、ドイツ（8本）、その他の国々（8本）の法廷モノの名作を網羅しているから、526頁の大著となり、読み応えは十分だ。しかし、これはまだ総論。引き続き各論の構想を持っているので、それをお楽しみに。大阪弁護士会の先生方から多くの注文を受けたことにも感謝！

2) 私が新聞、雑誌等に載せた評論・コラムをまとめた『がんばったで！』シリーズとして「31年！」「40年！」に続いて「45年！」を出版した。1974年の弁護士登録から45年。長いようだが、実感としてはあつという間だ。『週刊法律新聞』での長文の映画評論を転載したため、これも525頁の大著になったが、「事務所だより」をまとめた構成は我ながら上出来。弁護士50年を迎える2024年にも、『がんばったで！50年』を出版できるよう日々精進したい。

3) 『シネマルーム43』は恒例どおり7月に出版したが、2019年上半期のそれは「お薦め70作」になった。これは鑑賞数が増えたためで、その分内容の充実度も向上しているから、ぜひ読んでもらいたい。

4) 『シネマ5』『シネマ17』『シネマ34』は『坂和の中国映画大観』の1、2、3として出版した。近時、私の日中友好関係の業務と人脈はどんどん拡大しているため、中国映画を語る講演も増えてきた。そんな中、『シネマ34』以降の中国映画をまとめた『シネマ44』の出版も今秋には実現するはず。紙媒体とは別に電子サイトによる

「中国語版映画サイト」の開設も間近になっているので、『坂和的中国電影大観4』の出版をお楽しみに。

5) ヒトラー映画、ホロコースト映画、ナチス裁判映画は毎年一定数が日本でも公開されている。それを坂和流にまとめた全集の出版構想も99%完成しているが、今年は出版ラッシュになったので、これは来年の「戦後75年」を記念した企画として出版したい。

4 中国関連その1

1) 毛丹青老師、李淵博總經理らとの交流

毛丹青老師の活躍の舞台は広がるばかりで、忙しさもそれに正比例。また近時『在日本』總經理としての貫録が備わってきた李クンも上海で指揮をとる回数が増えてきた。そのため、日本で揃って食事会ができるのは2か月に一度程度になったが、その充実度はすごい。中国の出版事情も日本と同じように厳しいが、李クンは新たに上海と博多を結ぶ客船「新鑑真号」に中国人（富裕層の）観光客を乗せるツアーにも取り組んでいる。出版による知的作業も必要だが、収益事業や収益率アップも必要。それは弁護士業務も同じだが、彼のいろいろな事業の展開を期待したい。

2) 史林麗さん、古婷婷さんらとの交流

政治、経済、社会、文化の全般を巡る日本人の元気のなさ、とりわけ若者の世界観の狭さを痛感している私は、近時、中国人ながら不動産事業でバリバリ働いている史林麗さん、古婷婷さんとの接点が増えている。月に一度の「中国語の勉強会」のテーマは政治と映画が多いが、日本の不動産を巡る事件の通訳を頼んでからは、仕事上のパートナーとしての信頼度も高まっている。「逃亡犯条例」の改正を巡って香港で起きた200万人規模のデモの威力はすごい。「撤回」はありえないはずだったが、無期限延期は事実上の廃案だ。「一国二制度」が揺らぐ危機の中、多くの香港市民が立ち上がっているが、バラエティ番組花盛りの日本は？7/21に設定された参院選の投票率も50%に達しないこと確実な日本の民主主義や若者の生き方をどう考えればいいのか？彼女らの生き方と対比して、私はいつもそんなことを考えている。

5 中国関連その2

1) 中国映画講演と大阪府日中友好協会理事への就任

①2015年11/28、大阪府日中友好協会文化茶話会で「坂和の日中交流の楽しみ方と坂和的中国電影論」の講演。②2017年4/22、関西日中関係学会総会で同題の講演。③2019年2/2、関西日中平和友好会の2019年新春祝賀会で「坂和的中国映画の楽しみ方」を講演。これらの講演の出発点になったのは、(株)日中語学センターの大藪二朗氏との縁だ。彼とは2013年4月に中国人留学生・徐潮さんが日中語学専門学院に入学する時に知り合い、以降親密な交際を続けている。日中友好協会の活動は幅が広いし活発だから、真面目に取り組めば多くの時間をとられてしまう。そのため、2019年4月に大藪氏から大阪府日中友好協会理事への就任を打診された時は戸惑ったが、「迷ったときはgo!」の鉄則通り、これを承諾した。忙しくなるが、今秋にはまた中国映画の講演ができそう。

2) “三都サミット”の発足

上記③の中国映画の講演をご縁にメール交換を始めたのが、奈良県日中友好協会の中島崇夫氏。彼の日中の人脈は広いうえ、私の中国映画の評論を高く評価してくれたため、更に京都精華大学・内部監査室長の午居隆平氏や(株)澤標の松村信人社長らに人脈が拡大した。5/5は坂和を含む4者で1回目のランチ会を開催し、さまざまなテーマで有意義な議論を深め、カラオケも楽しんだ。大阪、奈良、京都から集まるため、「三都サミット」と名付けたこの会

合は今後も年に2、3回の開催を決定。プラスαを含めて参加する首脳(?)たちで多くのテーマを語り合い、活動の幅を広げていきたい。

3) 中国語検定2級への挑戦

私が中国語の勉強を始めたのは、還暦を迎えた2009年から。独学ながらラジオ講座を軸とした地道な勉強の甲斐あって、2011年12月には4級と3級に合格できた。しかし、3級と2級のレベル差は大きい。こりゃ所詮ムリと思っていたが、日中友好の活動が広がる中、次第に2級への挑戦を考えるようになり、2018年11/25に初挑戦。しかし、ヒアリングは全く歯がたたないうえ、基礎勉強の不足が明確になった。司法試験受験時の集中力さえあれば・・・。何度もそう思ったが、仕事、映画、フィットネスをやりながらひねり出す語学勉強の時間はやはり少ない。しかし、へこたれてサボってしまえば絶対ムリ。そう言い聞かせながら、1回目の不合格後も真面目に勉強を続けてきた。

そして6/23は2回目の挑戦！2級の筆記試験用のマニュアル本の勉強は50%、リスニングは1割もできていない状況だったので当日は“棄権”も考えたが、やっぱりそれでは男がすたる！そう決心して試験会場に挑んだ。リスニング問題はテーマがわかっただけで、質問事項はサッパリ。しかし、筆記は7割以上できたし、中国語訳も70%はOK。所詮、合格は無理だろうが、次回11月での合格を目指して再スタート！

弁護士坂和宏展の抱負と決意

1 近況

ここ4年ほど、自宅の新築を考えて土地探しから計画を進めていたのですが、このたび下の写真のとおり晴れて完成となり、6月から新居での生活を始めました。場所は平成29年の年末に購入した天神橋3丁目の土地で、近隣に高層マンションが林立する中、なぜか（有り体にいえば開発に失敗したのだと思いますが）共有私道を囲む1区画だけ戸建て住宅が残るといふ希少なエリアです。といっても私道が行き止まりのため自動車は使えず、そのため格安で購入できたのですが、そもそも車に乗れない私にとっては何の問題もない物件でした。計画には長い時間がかかりましたが、昨年末には地鎮祭にこぎつけ、工事が始まってしまえばあっという間に完成。敷地面積約25坪の3階建て



で決して豪邸ではありませんが、自由設計で間取りを工夫し、これまで建築関係の事件で勉強した知識も活用して、都心で快適な家を作ることができました。自宅です仕事ができ

る書斎も確保したので、3階を階段で上り下りして運動しながら仕事も頑張っていきたいと思います。

2 弁護士業務の執務状況

執務態勢に大きな変化はありませんが、弁護士業務の上では、来年（2020年）4月には民法（債権法）の改正・施行が迫り、また相続法も大きく改正されて順次施行されるなど、活発な法改正が続いているため、どんどん知識をアップデートしなければなりません。しっかり勉強の時間を確保しながら円滑な事件処理のため頑張っていきたいと思います。

26期1組45周年懇親会 (2018.12.1)



司法修習26期1組45周年懇親会

東京観光 (浅草・お台場) (2018.12.2)



お台場の“自由の女神”像をバックに

完成した似顔絵



“爆笑似顔絵”浅草本店の画家さんと

元旦の迎春 (1/1) と親戚集合 (1/2)



帝国ホテルで迎春を！(元旦)



菊谷家に牧野家を含めて親戚一同、大集合



坂和家も全員集合

江西省帰国華僑連合会・張知明首席ら御一行を自宅に招いた歓迎会 (1/5)



貴重な日中友好の宴を



祝・古希の誕生日 (1/26)



古希 (70 歳) の誕生日

関西日中平和友好会 2019 年新春祝賀会 (2/2)



「坂和的中国映画の楽しみ方」を講演



多士済々のメンバーと楽しい交流を

愛光同級生・喜安正秀さんの油絵個展へ (2/3)



作品を背景に喜安さんと
(MAG南森町アートギャラリーにて)

愛光関西9期囲碁会・懇親会
(1/15・2/13・3/13・4/11・5/8・6/5)



6/5 6名の棋士たちによるトーナメント



6/5 囲碁の後は楽しく居酒屋で

近畿交通共済協同組合 新年懇親会
(2/15)



都島自宅のパーティールームにて

『僕の帰る場所』の藤元監督らと
都島の自宅で食事会 (2/16)



会食をしながら今後の展望を

宏和化成工業所・持田社長と
丸万寿司で食事会 (2/20)



丸万寿司のお座敷で

源蔵町町内会のお花見 (3/30)



西天満公園の桜の前で

毛丹青老師・李淵博クンらとの交流 (3/28)



食事会で充実した情報交換を



鼎眞屋の前で

近畿交通共済協同組合 お花見懇親会 (4/5)



天満橋のキャッスルホテルにある「錦城閣」で
恒例の記念撮影

“三都サミット”の発足 (5/5)



海鮮酒家・伯林苑にて

苦小牧でゴルフ (5/25・26)



5/25 赤シャツ姿で絶好調



5/26 絶好のゴルフ日和

26期1組45周年懇親会(12/1)、東京観光(12/2)(写真4頁)

1) 26期司法修習1組は、寺田逸郎最高裁長官と山浦善樹最高裁判事を生んだすごいクラス。そんな1組の45周年クラス会を東京で開催。

2) それに合わせて、浅草発の水上バスに乗って、お台場海浜公園等を一人で見学。はとバスで一度東京観光をした時に、お台場のフジテレビ見学をしたが、今回は“自由の女神”像の前でハイポーズ！浅草ホテルに戻る途中の繁華街でははじめて“爆笑似顔絵”浅草本店に入り、似顔絵を完成！

元旦の迎春(1/1)と親戚集合(1/2)(写真4頁)

元旦は自宅でゆっくりした後、帝国ホテルで迎春。そして、サウナでスッキリ。

2日は恒例の美加の台にある菊谷家に牧野家と共に親戚が集合。宏展・弥生夫妻と3歳になった美咲ちゃんの他、金沢からは米田弘幸・奈央子夫妻も車で来阪し、年に一度の坂和家の大集合も！

江西省帰国華僑連合会・張知明首席ら御一行を自宅に招いた歓迎会(1/5)(写真4頁)

1) 李淵博クンの友人で、同じ安徽省合肥出身の楊陽クンはさまざまな日中交流活動に積極的。1/5には、江西省帰国華僑連合会の張知明首席(日本の副知事)、商務省・科学特許庁の官僚たち御一行を都島の自宅に招いた歓迎会を！久しぶりに中国式の宴会を楽しんだ後、記念品の贈呈や記念撮影等の公式行事もタツプリと。

2) 「お返し」として、陶磁器の産地として有名な景德鎮をはじめ、牧歌的な観光名所が多い江西省訪問を希望されたため、楊陽クンはゴールデンウィークの10連休を利用して江西省のさまざまな観光名所を旅行。私も機会があれば是非行きたいものだ。

祝・古希の誕生日(1/26)(写真4頁)

2015年9月の直腸ガンの手術後は、俺の余命はあと何年？そう考えたが、翌年の胃ガンの手術を含めてガンを克服し、無事70歳の誕生日を迎えることができた。心を込めた毎年のケーキとお花には感謝だが、何よりも少しふっくらした健康的な顔に注目！週一度のフィットネスと年間200本の映画鑑賞をあと10年は続けられるよう日々規則正しい生活を続けたい。

関西日中平和友好会 新春祝賀会(2/2)(写真4頁)

近時、日中友好協会関連の行事が増えている。私は、2月2日の関西日中平和友好会の新春祝賀会で「坂和的中国映画の楽しみ方」と題する講演を、『坂和的中国映画大観』1～3をプレゼントすると皆さん大喜び。参加者は中国でビジネス展開をしてきた大手企業の役員や担当者が多く、事業ネタ、映画ネタの話題に花が咲いた。その延長線上に(?)5月の総会での大阪府日本中国友好協会の理事への就任と、前述の“三都サミット”の発足(5/5)がある。

愛光関西9期囲碁会・懇親会(1/15・2/13・3/13・4/11・5/8・6/5)(写真4頁、5頁)

1) 昨年4月に始まった、月に一度の囲碁会と懇親会は定着し、参加者も増大中。また、この刺激により私も2名の初心者も棋力が大幅にアップ中だ。

2) 愛光中学では全員油絵をやっていたため、私も自作の宗教画を自宅に飾っているが、竹中工務店を退職した喜安くんは一念発起してそれを再開！あっという間に南森町のギャラリーを借り切って個展を開催する腕前に。その作品の数々にただ脱帽！

近畿交通共済協同組合 新年懇親会(2/15)・お花見懇親会(4/5)(写真5頁)

1) 都島の自宅での新年会は無礼講で本音を語り合ういい機会。実務はほとんど宏展弁護士が処理している昨今、仕事は若手、政治論・人生論はベテランたちにパートが分かれてきたが、それもよし！

2) 竹内まりやの名曲『人生の扉』の2番の歌詞、「満開の桜や 色づく山の紅葉を この先いったい何度見ることになるだろう」を思い出しながら、4月5日、天満橋のキャッスルホテルにある「錦城閣」で咲き誇る満開の桜を愛でながら、楽しくお花見懇親会を。

3) 町内会のお花見会にも、しっかり参加(3/30)。

『僕の帰る場所』の藤元監督らと都島の自宅で食事会(2/16)(写真5頁)

私が一部を出資した藤元明緒監督の『僕の帰る場所 Passage of Life』が東京国際映画祭で2冠の快挙！2/15のシネ・リーブル梅田での公開に合わせて、監督・製作スタッフらが都島の自宅に大集合！300万円の製作費で30億円の興行収入を挙げた『カメラを止めるな！』のような大ヒットはムリだが、こんな良心的な映画を粘り強く浸透させていきたい。

宏和化成工業所・持田社長と丸万寿司で食事会(2/20)(写真5頁)

昭和ラストの1988年から顧問契約を続けている(株)宏和化成工業所の持田成典社長とは、定時の決算報告や各種法律相談が継続している。バブルの時代は北新地での飲み会も多かったが、バブル崩壊後は経理全般を掌握している奥様同伴の食事会を年に数回開催。焼肉、中華、てっちりが多かったが、2/20には、同じ事務所だよりの「交遊録」に登場した藤尾正治氏が経営する丸万寿司で、おいしい寄せ鍋とお寿司を食べながら、しっかりお仕事を！

毛丹青老師・李淵博クンらとの交流(3/28)(写真5頁)

毛丹青老師らとの情報交換会は2か月に一度のペースで続いている。毛老師の活躍の場は拡大の一途だし、李クンの雑誌『在日本』の活動も順調。観光事業の展開も広がっている。また、史林麗さんを含めた仕事上の結びつきも強固になっている。毛老師の教え子で私の原稿打ちをしていた伊東日実子さんも4月からは社会人としてその中国語能力を存分に発揮している。

苫小牧でゴルフ(5/25・26)(写真5頁)

北海道の苫小牧で続いていた離婚事件は1月の調停成立によってすべて解決。今後は面会交流のチェックだけだが、会社の監査役としての仕事は継続中。そこで、株主総会に合わせて今年初の連チャンゴルフを。半袖でゴルフができる快晴の下、初打ちながら、ドライバーもよし、スコアも絶好調！

映画評論家『SHOW-HEY』の部屋～2019年（1～6月）厳選作の紹介

1. 第91回アカデミー賞など

1) 『ボヘミアン・ラプソディ』の大ヒットは私には予想外だったが、『グリーン・ブック』の作品賞、『ブラック・クラズマン』の脚色賞、『女王陛下のお気に入り』の主演女優賞は当然。「さすが！」の内容と演技を味わいたい。

2) 山田洋次監督は今年12月に『男はつらいよ』の第50作に挑戦だが、クリント・イーストウッドが自ら主演・監督した『運び屋』の出来はさすが。90歳を超えてなおこれだけの活動ができることに感嘆！

3) 何かとトランプ大統領の話題が続くアメリカでは、01年の9.11同時多発テロ後、“影の大統領”として03年のイラク開戦をリードしたチェイニー副大統領を描いた『バイス』と、一社だけそれに異議を唱えた記者を描いた『記者たち 衝撃と畏怖の真実』に注目。“大統領にまつわる映画”として『シネマ43』に収録した『LBJ ケネディの意志を継いだ男』『フロントランナー』『華氏119』と共に、しっかり勉強したい。

2. 原作はマンガだが見応え十分！この3本は必見！

1) 始皇帝を描いた名作は『始皇帝暗殺』(98年)、『HERO』(02年)、勝新太郎が主演した70ミリ大作『秦・始皇帝』(62年)等があるが、30巻を超える人気マンガ『キングダム』の1～5巻を映画化した『キングダム』は面白い。影武者のトリックや異母兄弟の確執はよくあるネタだが、なるほど、なるほど！

2) 『沈黙の艦隊』で有名なかわぐちかいじのコミックを映画化した『空母いぶき』も必見！2015年5月の国会で自衛隊法等10本の法律を一括改正する「平和安全法制関連2法案」が可決成立し、新たな平和安全法制が発足したが、憲法改正議論は封印されたまま。そんな中、護衛艦「いずも」の空母化が注目されたが、20XX年12月23日には沖ノ鳥島の西方で某国の武装部隊が日本の島に上陸！さあ、空母いぶきを旗艦とする第5護衛隊群の出動だが、専守防衛だけでOK？武力攻撃事態の認定は？防衛出動の命令は？今や現実にも、中国空母「遼寧」の活用が始まる中、「いずも」は南シナ海で米空母との共同訓練を行っているが、米中艦隊の衝突は大丈夫？

3) 7月26日公開の『アルキメデスの大戦』は従来とは異なる「大和もの」として必見！これは、数学で戦争を止め

ようとした男の物語だが、あなたは「アルキメデスの原理」を憶えてる？今のF35戦闘機1機の価格は約100億円だが、1930年代の新型艦の建造費はHow much？また、造るなら空母？それとも戦艦？46インチの主砲と不沈を誇る「戦艦大和」の誕生秘話を数字と数学からしっかり考えたい。

3. 潜水艦モノに外れなし！

「潜水艦モノに外れなし」の格言は『U・ボート』(81年)、『レッド・オクトーバーを追え！』(90年)、『K19』(02年)等で実証済みだが、『ハンターキラー 潜航せよ』でそれを再確認！ロシアで国防相が大統領を監禁するクーデターが発生！プーチンの強面を見ていると現実にはそんな可能性は低いが、映画では何でもありだ。しかも、ロシアの海軍基地近くの海底で対峙していたロシアと米国の原潜が沈没！その調査に出撃した米原潜ハンターキラーには、ロシア大統領の救出というとてもでない任務が。さあ、戦後74年間も平和を享受している日本人も、たまにはリアルな(?)こんな現実をしっかりと！

4. 『芳華』と『ザ・クロッシング (太平輪)』も必見！

1) 中国の文芸工作団での自分の体験を映画化した馮小刚(フン・ジャガ)監督の『芳華』は、1970年代の文化大革命下での青春群像劇。その美しさと切なさに4000万人が涙した最新傑作だ。1949年生まれの私は、60年代後半の大学紛争の時代、「ベトナム戦争反対！」を唱え、『戦争を知らない子供たち』を歌っていたが、その時中国では？1989年の天安門事件から30年後の今年はその総括が盛んだが、習近平国家主席への権力集中が進む今、毛沢東が指導した、あの文化大革命の総括も不可欠では？

2) 『レッドクリフ』ほどのエンタメ巨編ではなく評判はイマイチだが、呉宇森(ジョン・ウー)監督の『ザ・クロッシング (太平輪)』が日本でやっと公開！“中国のタイタニック”と呼ばれた、1949年の大型客船沈没事故に想を得た壮大な叙事詩は必見！日本の敗戦後、中国は「国共内戦」の泥沼に陥り、上海と台湾を結ぶ航路は避難民であふれた。そんな激動する時代状況下、①国民党軍の英雄、②台湾人の医師、③恋人を探しながら上海で娼婦に身をやつす女など、3組の男女が織り成す純愛劇は悲しく美しい。太平輪号沈没のハイライトシーンは、是非『タイタニック』(97年)と比較対照したいものだ。



◆ 業務時間 ◆

平日 午前9時～午後6時

土曜日 午前9時～午後3時

(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

※相談に来られる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。

※また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにいただければ幸いです。

※お車で来られる方はアクセスマップ(車・タクシー用)を参照して下さい。

事務所のホームページ

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/sub1-3-2007chizu.pdf>

から印刷して下さい。お電話をいただきましたらFAXします。

<まちづくり本、法律書>



<実況中継シリーズ全4冊>



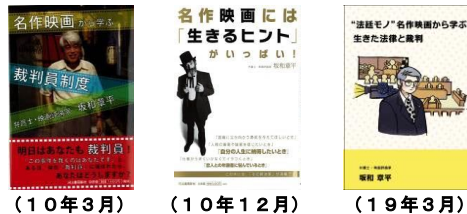
<その他の著書>



<コラム集>



<名作映画シリーズ>



<中国語の著書>



<『シネマルーム』シリーズ全43巻>

